

看研ニュース VOL. 71

第39回看護研究発表会開催

WEB開催となりましたが、皆様のご協力で盛大に開催することができました！



優秀賞：7階西病棟・SCU

『新型コロナ禍による面会制限下で一般病棟看護師が家族と患者の精神的なつながりを保つことが出来たと実感した家族への対応に関する質問紙調査』



看護部長賞：3階東病棟

『育児短時間勤務者とフルタイム勤務者の協働するうえでの対策』



ご参加いただいた吉田病院長よりお言葉をいただきました

初めて看護研究発表会に参加させていただきました。
コロナ禍ならではの演題を含め、すべてを興味深く拝聴させていただきました。
看護師だけの視点だけではなく、病院として考えなくてはならないことも沢山盛り込まれており、私自身もとても勉強になりました。
また、ZOOMでの対応も素晴らしく、さすが看護部、チームワークと準備の良さを感じました。
次回も可能であれば参加させていただきたいと思っております。
今後も臨床のみならず、研究にも力を注いでいただけることを期待しております。

病院長 吉田友英

部署コーナー 研究のその後を紹介

ICU・CCU

『急変対応時に生じる不安への対処方法』について研究しました。その結果、不安を抱きながらも、一つひとつ対処し、急変対応を乗り越えようとしていました
ICU看護師は、不安と上手に付き合いながら急変対応を実施できていることが明らかになり、この結果を部署で共有し、急変対応に対する不安の肯定やモチベーションの向上につなげていきたいと思っております



モチベーションUP↑



手術室



2017年度に、消化器外科腹腔鏡下手術中に生じる低体温の予防に効果的なベア-ハガーブランケットの種類について検討し、その有効性を明らかにする研究をしました
現時点での比率は、載石位用アンダータイプは約46%、アッパータイプは約30%使用し、適切な体温管理に尽力しています



看護研究委員会は学会への参加推進や看護研究への取り組みを全力でサポートしていきます！！
今行っている研究をあきらめることなく継続してください

2022年4月 看護研究委員会